

第4回 社会学部最優秀卒業論文賞（安田賞）受賞論文

〈講評〉

選考委員代表 石川 明

第4回安田賞には、田渕 祐果さんの「スポーツジャーナリズムと女性」が選ばれた。この論文は、スポーツにかかわりを持つ女性が、雑誌記事の見出しの中でどのように表現されてきたのかを緻密に検証することで、スポーツ・ジャーナリズムの女性観の特徴を的確に分析している。結論として、雑誌ジャーナリズムは、①女性がスポーツを行うことを、特殊な出来事だととらえていること、②「女性は本来のスポーツ行為者であるところの男性に従属し、それをささえる役割を持つ」という性役割観を維持していること、が指摘され、このような画一的な女性表現を厳しく批判している。この論文のすぐれた点は、論文としての完成度の高さである。コンパクトな構成、適切な資料の利用、分析枠組みの巧みさ、解釈の妥当性、明快な結論、表現の簡潔さの点ですぐれていた。

〈指導教授推薦文〉

指導教授 高坂健次

田渕さんの学年の統一のテーマは、「社会的区分論」であった。統一テーマとの関連でいえば、本論文はスポーツの分野での女性というカテゴリーの位置づけとその変遷、さらにはスポーツに関わる（観衆として、あるいは実践主体として）女性についての雑誌記事のタイトルから推測される女性観とその変遷を扱っている。後者については、1945年から1988年に至るまでの雑誌記事の中から関連する2千余点を選び出し、一定の組織的・創造的な枠組みのもとで内容分析を行っている。

スポーツへの参加の性差は徐々に小さくなっている。それは女性の社会経済的地位の向上の反映であり、ジェンダーをめぐる観念の変化の産物である。しかし、ジャーナリズムにおける女性の扱いはスポーツ参加の実態とはかけ離れて少ない記事量になっているし、またスポーツ実践主体としての女性の扱いは“従属する存在”や“若さ（幼さ）に主眼をおいた”ものとなっており、むしろ伝統的で固定的な性役割観に支えられた記事が多いことを、本論文は明らかにしている。

資料の収集整理の徹底さ、分析枠組みの創意工夫、背景的データや議論の取り扱い、雑誌記事報道のあり方に対する潜在的問題提起、等々の点において、本論文は小論ながらすぐれた卒業論文になっていると判断した。その成果は、一线の研究者にも大いに参考となるであろう。

（巻末の「資料」は、本誌の紙幅の制約上、残念ながらもとの約三分の二は割愛せざるをえなかった。しかし、資料の性質とその活かし方については、大まかなところは読者にもお分かりいただけるであろう。）

スポーツ・ジャーナリズムと女性

田 澄 祐 果

はじめに —オリンピックにみる女性のスポーツ参加の歴史—

今日では女性は男性と同様にスポーツ活動に参加し、その楽しみを享受することができる。しかしオリンピックの歴史をみると、1908年のロンドン大会ではじめて女性の参加が認められるまでオリンピックは男性の聖域であった。オリンピックの歴史をとおして、スポーツにおける女性の位置づけをみてとることができる。

オリンピックは古代ギリシア人の「古代オリンピック」とクーベルタンの提唱によって開催された1896年のアテネオリンピックから現在に続く「近代オリンピック」と分けられる。古代ギリシア人にとっては、体育競技はもともと各都市国家間の実戦に備えての基礎訓練であった。また、ほとんどの都市国家では女性に参政権がなく、法的、社会的な独立の人格は認められていなかった。よって、体育競技や体育訓練の参加は男子のみに認められるもので、オリンピックは女性は参加することだけでなく、見ることも許されない男性の聖域であった。

クーベルタンは「古代オリンピック」を模範としていたこと、またスポーツを「ジェントルマンのための道徳教育の手段」としてとらえられていたことから、基本的に女性の参加には非積極的であったといえる。それが19世紀後半からイギリス、アメリカの中産階級を中心として女性のスポーツ参加が活発になってきたことを反映して、次第にオリンピックに女性が参加するようになつたのである。

ただし注意すべきことは、当時女性に門戸が開かれた競技はローンテニス、アーチェリー、フィギュアスケート、ヨットの4種目で、オリンピックの主要競技である陸上競技や水泳競技のような「数量化される記録」¹⁾を争う競争的要素の強いものは依然として女性の参加は認められていなかつたということである。当時、中産階級の女性たちが行っていたスポーツは、乗馬、クローケ、スケート、ボート、アーチェリーといった、優雅さを競う、身体に負担の少ないものに限られていた。よって、スポーツ参加にかんしては性による区分が存在していたといえる。加野芳正はこれを「陶人形的な、女性らしさを求める、ヴィクトリア朝的な態度に由来したもの」²⁾と表現している。つまり「女らしさ」はスポーツ活動に向かないという規範があったということである。

では今日スポーツをする女性たちにとってはどうなのだろうか。一見男性と同じようにスポーツに参加しているようにみえるが、実際には参加のありかたで男女間に区分があるのかもしれない。

本論文は、スポーツ活動の参加にあたり男女でどの様な区分がなされているのか、また区分している要因は何なのかを、雑誌記事に表現されるスポーツ参加の様相を検討していく上で考えていくものである。

第1章 現代日本のスポーツ参加における性差

スポーツの歴史をみると、男女では参加できる競技種目に差があることがあきらかであるが、オリンピックはごく少数の一流選手だけが参加す

1) 武重雅文「近代オリンピックの宿命」亀山佳明編『スポーツの社会学』世界思想社、1990年、p. 107

2) 加野芳正「身体をもったアフロディーテ」亀山佳明編『スポーツの社会学』世界思想社、1990年、p. 125

る、きわめて参加者の自由度の小さいスポーツである。よって社会的行為としてのスポーツを考えるならば、より参加者の自由度が大きいインフォーマルなスポーツの参加の性差を選べる必要があるだろう。

この章では、総理府の世論調査³⁾に基づいた先行研究をもとに、現代日本におけるスポーツ参加の性差の実態を整理する。

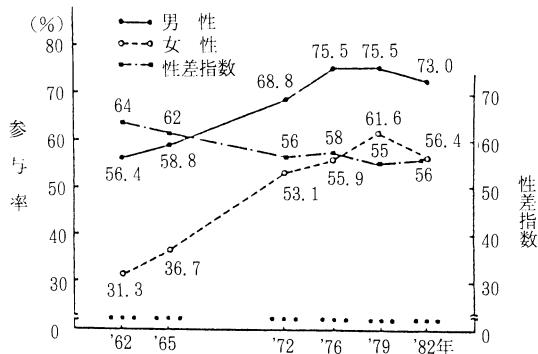
第1節 スポーツ参加の変動とその性差

(1) 図1-①は日本人のスポーツ参与率⁴⁾（過去1年間に何らかの運動やスポーツを行った者の比率）及び性差指数⁵⁾（性差の程度）の1962年～1982年の20年間の変化を示している。これから、(1)1962年から1979年までは男女とも参加率が上昇し、1979年をピークにやや下降する傾向にあること、(2)1962年から1979年の参加率の上昇の変化が男性のそれよりも大きいこと、(3)性差指数は微小ではあるが縮減する傾向にあること、がわかる。

(2) では、日本人が行うスポーツ種目内容についてはどうであろうか。

図1-②は総理府が次のように大分類した3つ

図1-① 性別にみた過去1年間のスポーツ参与率および性差指数の変化



(注) 1. データは、総理府「スポーツに関する世論調査」である。

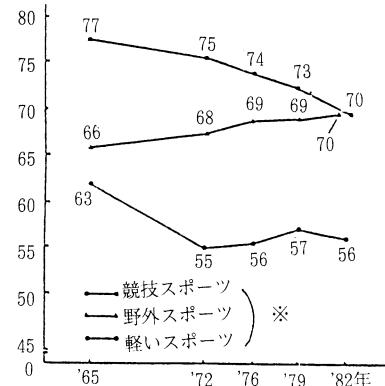
2. *印は、性差の有意水準（***…0.1%）を示す。

(資料出所) 体育・スポーツ社会学研究会編『体育・スポーツ社会学研究』第3巻、p.99

3) 総理府広報室、(体力・)スポーツに関する世論調査、1957年、1962年、1965年、1972年、1976年、1979年、1982年実施

4)、5) 江刺正吾「現代日本の成人にみられるスポーツ参与の変動と性差の検討」体育・スポーツ社会学研究会編『体育・スポーツ社会学研究』第3巻、道和書院、1984年、pp. 97-117

図1-② 大分類の種目別にみた性差指数の変化



(資料出所) 体育・スポーツ社会学研究会編『体育・スポーツ社会学研究』第3巻、p.101

のカテゴリーにみる性差である。

〈競技スポーツ〉 野球・ソフトボール・卓球・バレーボール・テニス

〈野外スポーツ〉 遊泳・ハイキング・登山・スキー・スケート・ゴルフ・サイクリング・釣り

〈軽いスポーツ〉 軽い球技・各種体操・歩け歩け運動・ダンス・ボウリング・ランニング

この図からわかるることは、(1)いずれのカテゴリーにおいても男性優位な性差があること、(2)〈軽いスポーツ〉の性差が最小で〈競技スポーツ〉の性差が最大であること、(3)〈野外スポーツ〉の性差が拡大の傾向にあるのに対し、〈軽いスポーツ〉〈競技スポーツ〉は縮小の傾向にあること、である。

さらにより詳しく個別のスポーツ種目（小分類）の実施率の男女差をみたのが表1-①である。1982年の性差指数をみてまずいえることは〈ダンス〉〈バレーボール〉〈サイクリング〉〈各種体操〉の4種目をのぞいてほとんどの種目で男性優位の実施率である。また1965年の数値と比較してみると、8種目において性差が縮小、逆に5種目では性差が拡大した5種目の内容をみると、〈ゴルフ〉はより一層男性優位に、〈各種体操〉〈サイクリング〉〈バレーボール〉は男性優位から逆転して女性優位に、〈ダンス〉はさらに女性優位の度合いを増

表1-① 性別・種目別にみたスポーツ実施率および性差指数の変化

スポーツ種目		1965年			1982年			性差の 変化
大	小分類	男性	女性	性差指数	男性	女性	性差指数	
軽いスポーツ	軽い球技	46.1	17.7	72	24.9	13.0	66	縮小
	各種体操	16.1	11.0	59	23.8	27.1	47	拡大
	歩け歩け運動	8.3	4.7	64	11.6	10.6	51	縮小
	ダンス	4.9	10.8	31	1.8	6.4	22	拡大
	ボウリング	6.2	2.4	72	16.8	11.6	59	縮小
	ランニング	—	—	—	15.7	7.3	68	—
野外スポーツ	游泳	25.8	13.4	66	15.5	8.3	65	変化なし
	ハイキング	10.8	8.3	57	6.3	5.6	53	縮小
	登山	8.8	4.0	69	6.4	2.7	70	変化なし
	スキービー	7.5	3.7	67	7.6	4.5	63	縮小
	スケート	6.5	3.5	65	3.1	2.5	55	縮小
	ゴルフ	3.5	0.5	88	15.2	1.5	91	拡大
	サイクリング	3.0	1.4	68	4.2	5.1	45	拡大
競技スポーツ	釣	—	—	—	19.5	2.7	88	—
	野球	19.9	0.2	99	18.8	0.1	99	変化なし
	ソフトボール	11.6	2.6	82	23.4	4.9	83	変化なし
	卓球	12.3	6.4	66	7.3	5.6	57	縮小
	バレーボール	6.7	5.4	55	6.4	10.0	39	縮小
テニス	テニス	2.6	1.3	67	8.1	7.6	52	縮小

(注) 1. データは、総理府「スポーツに関する世論調査」である。

2. 種目の選択基準は、性別の実施率のいずれかのセルにおいて、その値が5.0%をこえることである。

3. 「男性」・「女性」の列は、種目別参与率を示し、単位は%である。

4. 実施率欄中の「—」は、回答カテゴリーがなかったことを示す。

5. 性差の変化は、両年間の差が $| si | \leq 1.0$ の場合、「変化なし」とみなした。

(資料出所) 体育・スポーツ社会学研究会編『体育・スポーツ社会学研究』第3巻、p.102

している。

(3) 図1-③は日本人の運動やスポーツ関係の集団(クラブや同好会など)への所属状況とそ

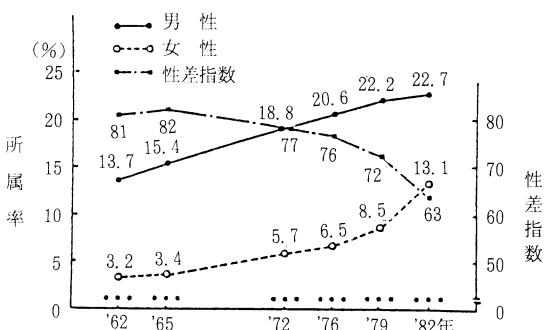
の性差について示している。一見してわかるとおり男女とも年々所属率は上昇しており、特に1970年代以降の女性の上昇の度合いが著しくおおきい。これは図1-②の女性の「過去1年間のスポーツ参与率」が1979年以降落ち込んでいるのかと対照的である。性差の視点では見るならば、明らかな男性優位な性差は存在するもののその値は縮小傾向にあることがわかる。

(4) 以上からスポーツ参加の変動とその性差について次のようにまとめることができるだろう。まず第一に、過去20年間に日本人のスポーツ参加は男女とも量的に(1年間の参与率、実施種目数、スポーツクラブ所属率ともに)増加している。またこの量的変動の度合いは男性よりも女性のほうが顕著である。

第2に、このスポーツ参加には1年間の参与率、実施種目数、スポーツクラブ所属の3つの側面とともに、明らかな男性優位の性差が存在する。

第3に、しかしこの性差は徐々に縮小する傾向にある。

図1-③ 性別にみたスポーツクラブ所属率および性差指数の変化



(注) 1. データは、総理府「スポーツに関する世論調査」である。

2. *印は、性差の有意水準(* * * * 0.1%)を示す。

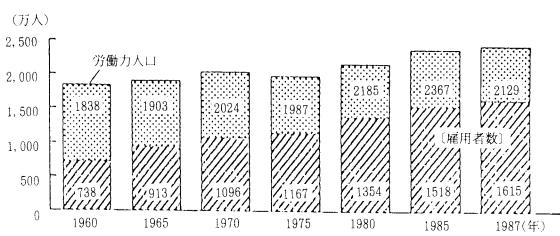
(資料出所) 体育・スポーツ社会学研究会編『体育・スポーツ社会学研究』第3巻、p.102

第2節 スポーツ参加の性差縮小の要因

前節で明らかなように、スポーツ活動の参加の実態には歴然とした男性優位の性差が存在する。しかし、性差の程度は次第に縮小する傾向であることも事実である。ここでは性差縮小の要因を、「女性の社会的地位の向上」にもとめて考察する。

(1) 社会的地位を保つためには経済的な側面が不可欠である。労働力としての女性の地位の変化を見てみよう。女性の就業者人口は1960年の1,838万人から1980年の2,142万人と20年間によそ1.3倍増加している。ことに注目すべきことは、女性就業者のうち〈雇用者（賃金労働者）〉の占める割合が31.1%（1960年）から34.1%（1980年）へと3%増加していることである。この増加の割合は〈自営業主〉〈家族従業者〉の増加率よりも大きい。これはパートタイマーの増加に負うものと

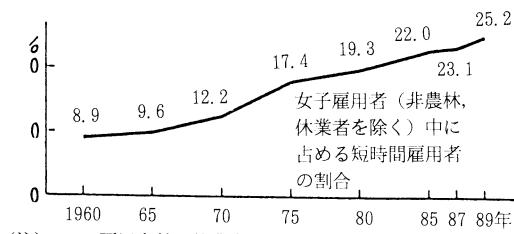
図1-④ 女性労働力人口と雇用者数の推移



（出典）総務省統計局『労働力調査』

（資料出所）江原由美子ほか『ジェンダーの社会学』新曜社、p.148

図1-⑤ 女子パートタイム労働者の割合の推移
(非農林業)



（注）1. 雇用者数は休業者を除く。

2. 短時間雇用者とは週間就業時間が35時間未満であったもの。

（出典）労働省統計局『労働力調査』

（資料出所）井上輝子・江原由美子『女性のデータブック』有斐閣、p.93

推測される。（図1-④、図1-⑤）

(2) また女性の高学歴化も社会的地位の向上の一侧面である。とくに学校教育の体育授業やクラブ活動においてスポーツに接することの多い日本では、教育期間の長期化がスポーツ経験の機会の増やすことにつながるといえる。義務教育修了後の高校進学率をみると、男55.5%・女47.4%（1955年）が男91.0%・女93.0%（1975年）となり女性優位に逆転している。また全体をみても、1955年はおよそ半分のものだけが進学していたのが1975年には90%をこえ、高等教育が大衆化している。（表1-②）

表1-② 高校進学率(%)

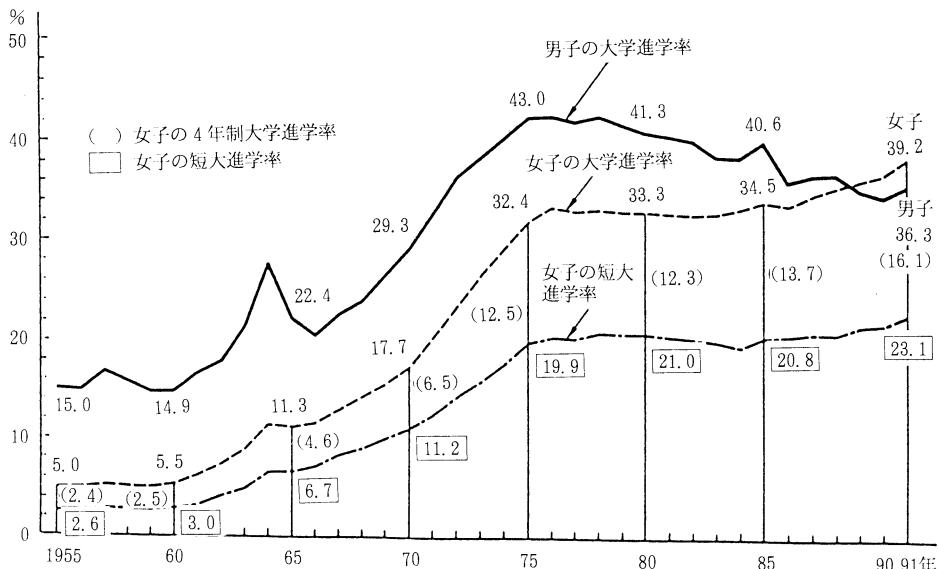
	全体	女	男
1950年	42.5	36.7	48.0
55	51.5	47.4	55.5
65	70.7	69.6	71.7
75	91.9	93.0	91.0
85	93.8	94.9	92.8
91	94.6	95.8	93.5

（資料出典）井上輝子・江原由美子『女性のデータブック』有斐閣、p.117

では大学進学率はどうだろうか。まず4年制入学の進学率をみると、男14.9%・女2.5%（1960年）が男41.3%・女12.3%（1980年）へと男女とも増加している。男性優位の性差が常にあるが、1960年から1980年の20年の間に女性は約5倍に増加しているのに対し男性はおよそ2.8倍とその性差は縮減している。さらに女性の短大進学者を含めた進学率と比較すると、20年間の増加の度合いは約6倍に増している。（図1-⑥）

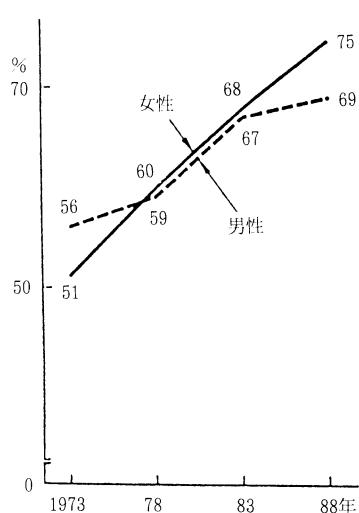
(3) 最後に夫婦関係にみる女性の地位の変化について見てみよう。1973年以降の比較的新しい統計ではあるが大きな流れを読み取ることは出来るだろう。図1-⑦から「夫の台所仕事」を肯定する人が男女ともに増加していることが分かる。増加傾向は特に女性に著しい。また図1-⑧から女性の意識上の理想の夫婦像が変化していることがわかる。〈夫唱婦隨〉〈夫婦自立〉の両極はほとんど変化がないが、1980年から〈家庭内協力〉型夫婦が〈役割分担〉型夫婦へと変化している。これは夫は「外」妻は「家」という性別役割分業よりも、家庭内で夫婦が平等の関係を築くことを理想

図1-⑥ 大学進学率の推移



(資料出典) 井上輝子・江原由美子『女性のデータブック』有斐閣、p.117

図1-⑦ 夫の台所仕事「するのは当然だ」(男女別)



(出典) NHK『日本人の意識調査』1973、78、83、88年より
(資料出典) 井上輝子・江原由美子『女性のデータブック』有斐閣、p.165

としていることのあらわれであるといえよう。

第3節 女性のスポーツ参加を規定する要因

これまでスポーツ参加の性差の実態について検討してきたが、ではそもそもなぜスポーツにおい

ては男性優位の性差が存在するのかを考えなければならない。そこでまず女性のスポーツ参加を規定する諸要因を分析する。

江刺正吾はスポーツ参加を社会的「行為」としてとらえ、パーソンズの社会的行為論を援用し次のように分類している。

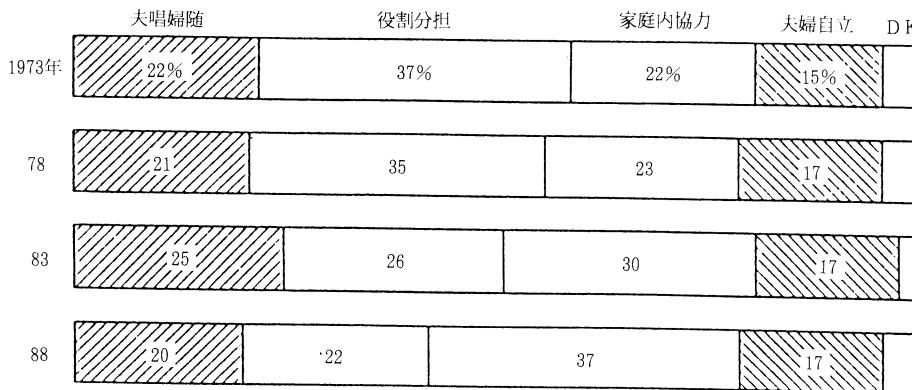
すなわち女性がスポーツに参加しようとする場合、スポーツ行為の動機や目的（意識）、スポーツ行為を方向づける規範や価値（思想）、スポーツを行う女性の社会的地位や役割）、そしてスポーツを行うための手段や便宜（制度）の諸要因が作用する。つまりこれらの諸要因のために「女性は（男性のように）スポーツに参加しない」のだ。

表1-③ 女性のスポーツ参加を規定する諸要因の構造

		視 点	
		微 視 的	巨 視 的
規 定 要 因	内 的	(意識) 例：スポーツの態度 女性スポーツ観	(思想) 例：「女らしさ」 女性観
	外 的	(役割) 例：社会的属性 女性役割	(制度) 例：スポーツ制度 家族制度

(出典) 江刺正吾「女性とスポーツ—その事実と背景—」

図1-⑧ 理想の家庭像（女性全体）



(出典) NHK『日本人の意識調査』1973、78、83、88年より
 (資料出典) 井上輝子・江原由美子『女性のデータブック』有斐閣、p.167

第2章 雑誌記事にみるスポーツと女性 —記事見出しにおける女性表現の調査から—

第1節 調査方法

第1章において女性スポーツ参加の現状とその規定要因のひとつとして、「女らしさ」という女性観（ジェンダー）があることを述べた。この章では具体的に、私たちの「スポーツにおける女性観」をどのようなものか、メディアに登場する女性の姿を観察することで、間接的に人々が持つ女性観を調査しようと思う。

大宅壮一文庫雑誌記事件名目録の項目24【スポーツ】の1945年～1988年の全項目から、女性を表す語句が含まれているものを全て取り出し、掲載年代と内容で分類する。内容に関しては、「その記事見出しにおいて女性はスポーツ行為の行為者であるか否か」と「女性表現語句」の大きく二つの枠組みから考察する。さらに女性表現語句を意味内容で分類した。

第2節 調査結果と考察

(1) 調査対象とした記事見出しの総数は表2-①のとおりである。スポーツに関する雑誌記事が急増していることが分かるが、これはスポーツに対する興味関心が大きくなっていることもあるが、それよりも出版される雑誌の絶対数が増加していることによるものであろう。ではこれらのは

かで、女性が登場している記事見出しはどれくらいあるだろうか。表2-②は女性が登場している記事見出しの件数を集計したものである。見出しおなかにひとつでも女性を表現する語句が含まれているとすれば1件として数えた。総数にして1726件の記事見出しがあるが、これは全体の約7.3%にあたる。見出しだけで記事の内容を判断することはできないが、総じて雑誌のスポーツ記事に関しては女性登場量は男性に比べてはるかに少ないと言えるだろう。

では女性が見出しに登場するときの立場はどうだろうか。スポーツ行為の主体として登場する場合とそうでない場合、つまりスポーツの非行為者として登場する場合とに分けてみる。

〈分類該当見出し例〉

- 行為主体……「15年ぶりに切った“1分の壁”
100メートル自由型で山崎幸子」
(週刊サンケイ、1977/8/18)
- 非行為者……「登山の神さまガストン・レ
ビュファの奥さんはシャモニー
のダンスパーティーで見始めた
高所恐怖症(?)の内助型の妻」
(女性自身、1976/6/24)

表2-②の()の値は女性がスポーツの非行為者として登場している記事見出しの件数である。これによると記事見出しの女性登場量のうち約25%はスポーツの行為者ではないことがわか

表2-① 記事見出し調査総件数(年代別)

中項目	年代	'45— '49	'50— '54	'55— '59	'60— '64	'65— '69	'70— '74	'75— '79	'80— '84	'85— '88	合計 [件]
001 スポーツ一般		5	18	70	28	32	52	220	195	288	908
002 オリンピック		5	25	105	236	63	92	218	333	151	1,228
003 水泳		3	3	16	7	11	13	83	44	69	249
004 ボート、ヨット		0	1	2	4	3	7	71	64	130	282
005 登山		3	45	89	43	32	48	87	54	64	465
006 スキー		1	1	24	17	12	45	200	132	128	560
007 スケート		0	5	5	2	2	3	34	34	29	114
008 アイスホッケー		0	1	0	0	0	7	43	19	11	81
009 陸上競技		0	6	18	12	4	11	164	172	232	619
010 体操		0	0	1	2	0	8	45	35	53	144
011 乗馬		0	0	1	0	0	1	19	12	11	44
012 アーチェリー		0	0	0	0	0	3	9	4	1	17
013 射撃		0	0	1	1	1	3	6	11	7	30
014 重量挙、ボディビル		0	0	9	1	0	3	16	36	43	108
015 相撲		4	32	132	74	35	97	345	265	209	1,193
016 ボクシング		1	6	26	35	9	16	101	59	78	331
017 キックボクシング		0	0	0	0	4	3	18	2	5	32
018 プロレス		0	10	26	3	17	18	93	96	180	443
019 アマレス		0	2	7	3	0	0	7	3	20	42
020 柔道		1	18	21	30	5	3	27	13	31	149
021 空手		0	1	6	3	5	9	20	9	18	71
022 武道、格闘技		1	6	24	9	1	28	48	47	41	205
023 野球		9	13	69	31	14	101	364	201	153	955
024 高校野球		2	6	34	23	15	76	573	371	319	1,419
025 プロ野球・一般		24	27	195	131	24	104	942	503	742	2,692
026 プロ野球・球団		0	7	55	49	16	120	921	488	958	2,614
027 プロ野球・巨人		0	1	44	19	9	89	852	613	648	2,275
028 プロ野球・監督、選手		5	4	109	76	21	89	543	384	480	1,711
029 ボウリング		0	1	1	8	4	69	25	11	11	130
030 バスケットボール		0	1	0	1	0	2	18	16	21	59
031 バレーボール		0	0	2	15	14	32	93	56	70	282
032 サッカー		0	0	2	1	11	10	61	46	132	263
033 ラグビー		0	0	8	2	0	5	97	128	273	513
034 アメリカンフットボール		0	0	0	0	0	1	56	25	56	138
035 テニス		0	3	7	1	1	15	120	142	110	399
036 スカッシュ		0	0	0	0	0	4	3	2	2	11
037 卓球		0	2	9	3	0	2	6	12	10	44
038 ゴルフ		1	7	25	18	8	242	526	550	579	1,956
039 ゲートボール		0	0	0	0	0	1	21	17	39	78
040 バドミントン		0	0	0	0	2	8	6	3	19	38
041 ソフトボール		0	0	0	0	0	0	12	6	6	24
042 球技いろいろ		0	1	0	0	0	4	20	26	34	85
043 その他スポーツ		0	0	1	0	0	1	13	25	67	107
合計 [件数]		57	253	1,145	747	1,122	1,438	7,128	5,275	6,490	23,655

る。よって記事全体のうち「スポーツの行為者として女性が登場している記事見出し」は5.4%にすぎない。前章でみたような女性の実際のスポーツ参加実態とはかけはなれた数値と言える。その理由、背景については第3章で検討する。

(2) 次に、女性登場者を表現するのにどの様な語句が使用されているかを調査した。さらに表現語句を意味内容で次の6通りに分類した。

A. 垂直としての女性……女性トレーナー、女子登山隊、女子柔道選手権、等本来そのこ

表2-② 女性が登場する記事見出し件数

年 代 中項目	'45— '49	'50— '54	'55— '59	'60— '64	'65— '69	'70— '74	'75— '79	'80— '84	'85— '88	合 計 [件数]
001 スポーツ一般	1	0	(1) 3	1	2	(1) 5	(27) 43	(26) 41	(36) 44	(91) 140
002 オリンピック	0	3	0	(6) 10	(2) 2	(2) 5	(2) 20	4	(3) 3	(15) 47
003 水泳	0	0	1	1	1	(1) 5	15	6	(1) 14	(2) 43
004 ボート、ヨット	0	0	0	0	0	(1) 1	5	3	4	(1) 13
005 登山	0	0	5	5	3	10	(1) 21	1	(1) 8	(2) 53
006 スキー	0	0	1	0	0	2	(1) 10	(2) 14	(5) 12	(8) 39
007 スケート	0	0	1	0	1	0	4	4	7	17
008 アイスホッケー	0	0	0	0	0	4	10	5	1	20
009 陸上競技	0	1	1	2	2	5	33	24	33	101
010 体操	0	0	0	0	0	3	18	12	23	56
011 乗馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
012 アーチェリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
013 射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
014 重量挙、ボディビル	0	0	0	0	0	0	7	16	31	54
015 相撲	0	(1) 1	(1) 1	0	0	0	(6) 6	0	(4) 5	(12) 13
016 ボクシング	0	0	1	0	0	4	4	(1) 2	(1) 8	(2) 19
017 キックボクシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
018 プロレス	0	2	4	0	8	7	35	15	75	146
019 アマレス	0	0	0	0	0	0	2	1	8	11
020 柔道	0	(1) 1	0	1	0	2	7	1	7	19
021 空手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
022 武道、格闘技	0	0	1	0	0	2	7	3	1	14
023 野球	1	3	4	1	0	0	(5) 48	(3) 9	(3) 5	(11) 71
024 高校野球	0	0	0	0	0	(6) 6	(9) 9	(3) 3	(18) 18	(36) 36
025 プロ野球・一般	0	0	(1) 1	(3) 3	0	(1) 1	(18) 18	(15) 15	(8) 8	(46) 46
026 プロ野球・球団	0	0	0	(1) 1	0	0	(5) 5	(2) 2	(2) 2	(10) 10
027 プロ野球・巨人	0	0	0	0	0	0	(4) 4	(2) 2	(21) 21	(27) 27
028 プロ野球・監督、選手	(1) 1	0	(4) 8	(9) 9	(1) 2	(10) 10	(37) 37	(25) 30	(35) 39	(122) 136
029 ボウリング	0	0	0	0	2	19	5	2	5	33
030 バスケットボール	0	0	0	0	0	1	3	5	11	20
031 バレーボール	0	0	0	15	14	(3) 21	67	27	(5) 36	(8) 180
032 サッカー	0	0	0	0	0	2	5	7	(1) 11	(1) 25
033 ラグビー	0	0	0	0	0	0	2	(2) 3	(7) 14	(9) 19
034 アメリカンフットボール	0	0	0	0	0	0	(2) 3	0	(3) 7	(5) 10
035 テニス	0	0	0	0	0	7	12	18	20	57
036 スカッシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
037 卓球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
038 ゴルフ	0	0	(1) 1	(1) 2	(1) 1	(3) 12	(5) 30	(4) 39	(14) 124	(29) 209
039 ゲートボール	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
040 バドミントン	0	0	0	0	0	2	4	1	0	7
041 ソフトボール	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
042 球技いろいろ	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
043 その他スポーツ	0	0	0	0	0	0	1	7	9	17
合 计 [件数]	(1) 3	(2) 11	(8) 33	(20) 51	(4) 38	(28) 135	(122) 500	(85) 323	(169) 632	(439) 1,726

注) () 内の値はスポーツの非行為者として女性が登場している記事見出しの件数

とばの意味に性別を含まないようなものに、女性であるが故に特別な方法、「女性」等の語をかぶせて表現しているもの。

B. 客全体としての女性……美女、アイドル、トルコ嬢、等

男性を主体とし、男性の視点・関心から女性を表現しているもの。男性に「見られる」

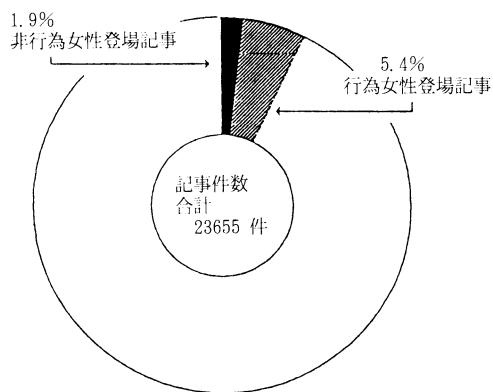
存在としての女性を表現しているもの。

C. 従属する存在としての女性……女房、妻、コンパニオンガール、等

ステレオタイプな女性役割分業觀を反映した表現。男に依存、従属した補佐する存在として表現されているもの。

D. 低能力者としての女性又は過剰表現……女

図2-① 女性が登場する記事件数の割合
(表2-①、②より田渕作成)



だてらに、女三四郎、魔女、等

女性は男性よりも能力が低いということを前提とした表現。あるいはその裏返しである。必要以上にもちあげた過剰な表現。

E. 若さ（幼さ）に主眼をおいた女性……女子高生、ギャル、少女、等

F. その他

見出しだけでは上記5つのいずれにも判別つけられないもの、他

この分類にしたがって得た結果が表2-③である。これによると分類Fをのぞくと分類Aの語句数がもっとも多い。さらに種目別にみるとならば、009〔陸上競技〕、018〔プロレス〕、031〔バレーボール〕、038〔ゴルフ〕の項目で分類Aが際立って多いことが特徴的である。また、028〔プロ野球・監督、選手〕の項目で分類Cがもっとも多い

ことも目を引く。大宅壮一文庫雑誌記事件名目録のなかで028-007〔選手夫人〕という小項目が設けられているように、プロ野球に関する記事では「選手を裏で支える妻」をえがく記事が多い。

さらに、スポーツの非行為者として女性が登場している記事見出しに限定し、そこに使用されている女性表現語句の数を集計したものが表2-④である。表2-③、④から、女性が登場する立場によって表現語句の意味内容がどのようにことなるかを分かりやすく示したのが図2-②-a、bである。これをみると、女性がスポーツの行為主体であるか否かで用いられる女性の表現語句が全く異なることがよくわかる。行為者として登場する場合は人類の亜種として特殊視され、主体的なスポーツの行為者でない場合はスポーツの行為者である男性に従属し、それを支える人としてとらえられているといえる。また、非行為者として登場するとき皆無に近い分類Dが、行為者として登場する場合は6.5%を占めていることも注目すべきであろう。

第3章 ジャーナリズムと女性観

第1節 雑誌記事にみるスポーツと女性観の考察

(1) 第2章の調査結果から、スポーツと女性観の関係はつきの二つの特徴を挙げられる。

ひとつは、女性がスポーツを行うことは特殊である、という考え方方が窺えることである。雑誌に限らずメディアにおいてある事柄をニュースとして扱うかどうかの判断基準はニュース・バリュー

図2-②-a 女性表現語句の分類
(行為者として登場する場合)

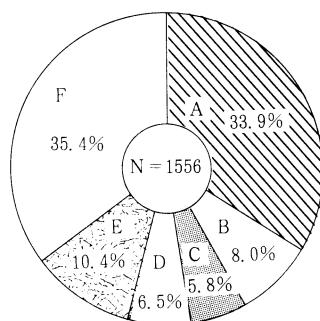
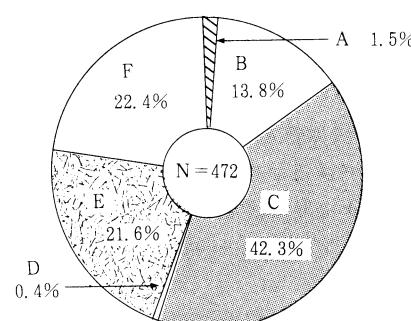


図2-②-b 女性表現語句の分類
(非行為者として登場する場合)



(②-a、bともにデータをもとに田渕作成)

表 2-③ 女性表現語句の分類

分類 中項目	A	B	C	D	E	F	合計
001 スポーツ一般	0	19	51	1	23	43	137
002 オリンピック	0	13	0	9	1	32	55
003 水泳	2	10	1	1	6	20	40
004 ボート、ヨット	0	1	1	0	3	9	14
005 登山	21	0	10	2	11	28	72
006 スキー	1	7	0	0	17	16	113
007 スケート	1	2	0	1	2	14	20
008 アイスホッケー	10	1	3	1	4	7	26
009 陸上競技	54	1	7	3	7	74	146
010 体操	0	21	1	1	4	21	48
011 乗馬	0	0	0	0	0	0	0
012 アーチェリー	0	0	0	0	0	0	0
013 射撃	0	0	0	0	0	0	0
014 重量挙、ボディビル	12	8	8	8	10	27	73
015 相撲	1	2	4	0	3	6	16
016 ボクシング	12	0	3	0	2	12	29
017 キックボクシング	0	0	0	0	0	0	0
018 プロレス	115	9	4	5	17	44	194
019 アマレス	6	1	3	1	3	5	19
020 柔道	13	1	0	6	1	7	28
021 空手	0	0	0	0	0	0	0
022 武道、格闘技	3	0	1	0	5	10	19
023 野球	30	3	9	1	14	13	70
024 高校野球	1	5	6	0	18	10	40
025 プロ野球・一般	0	6	16	0	26	16	64
026 プロ野球・球団	0	1	10	0	1	3	15
027 プロ野球・巨人	0	4	12	0	10	9	35
028 プロ野球・監督、選手	2	23	80	0	3	25	133
029 ボウリング	22	5	3	2	4	11	47
030 バスケットボール	11	2	0	2	1	11	37
031 バレーボール	74	12	13	37	10	48	194
032 サッカー	17	0	4	0	3	6	30
033 ラグビー	5	1	5	0	8	10	29
034 アメリカンフット	4	1	3	0	2	1	11
035 テニス	15	6	5	9	28	23	86
036 スカッシュ	0	0	0	0	0	0	0
037 卓球	0	0	0	0	0	0	0
038 ゴルフ	100	23	13	12	13	85	246
039 ゲートボール	0	0	0	0	1	2	3
040 バドミントン	0	0	0	0	0	0	0
041 ソフトボール	0	0	2	0	0	1	3
042 球技いろいろ	2	1	1	0	1	2	7
043 その他スポーツ	0	1	1	1	2	6	11
合 計	534	190	280	103	264	657	2,028

注) ひとつの記事見出しに複数の表現語句がある場合もすべて数えた。

の有無である。ニュース・バリューが有ると判断される条件はいくつか考えられるが、もっとも重要なことは第一に「人々に与える影響が大きいこと」、第二に「異常な出来事であること」である⁶⁾。

雑誌記事にスポーツ行為の主体者として女性がとりあげられるときは、第二の「異常な出来事」をニュース・バリューとして判断しているといえる。

表2-④ 女性表現語句の分類
(女性がスポーツの非行為者として登場する場合)

分類 中項目	A	B	C	D	E	F	合計
001 スポーツ一般	0	0	42	0	11	4	57
002 オリンピック	5	8	2	2	2	1	20
003 水泳	0	1	0	0	1	0	2
004 ボート、ヨット	0	0	1	0	0	0	1
005 登山	0	0	2	0	0	1	3
006 スキー	0	3	0	0	6	2	11
015 相撲	0	3	4	0	3	4	14
016 ボクシング	0	0	2	0	0	2	4
020 柔道	0	0	0	0	0	1	1
023 野球	0	0	3	0	5	5	13
024 高校野球	1	5	6	0	18	10	40
025 プロ野球・一般	0	6	17	0	25	16	64
026 プロ野球・球団	0	1	10	0	1	3	15
027 プロ野球・巨人	0	4	12	0	10	9	35
028 プロ野球・監督、選手	1	23	80	0	3	25	132
031 バレーボール	0	3	0	0	4	1	8
032 サッカー	0	0	1	0	0	0	1
033 ラグビー	0	0	1	0	6	3	10
034 アメリカンフットボール	0	1	3	0	4	0	8
038 ゴルフ	0	7	4	0	3	19	33
合 計	7	65	190	2	102	106	472

注) ひとつの記事見出しに複数の表現語句がある場合もすべて数えた。

たとえば、

005-002 [登山] マナスル登頂

「マナスル登頂女性隊『女を捨てる』世界で初めて8000メートル征服」

(ヤングレディ、1974/6/2)

という記事見出しをみてみよう。なぜ「マナスル登頂女性隊」なのだろうか。ここでは「マナスル登頂隊」でも行為内容に違いはないのだが、行為主体が女性であることが「異常な出来事」なので記事になっているといえるだろう。

(2) ふたつめは、女性はスポーツ行為者である男性に従属しそれをささえるという性役割観である。

028-007 [プロ野球・監督、選手] 選手夫人

「阪神タイガース 選手を支えた最高殊勲妻たち台所から応援するもうひとつの戦い」

(微笑、1985/10/12)

という記事見出しからは、男性は外で仕事（この場合スポーツ）に従事し女性は家で夫を支える役目を果たす、という性役割観が表れている。このように女性が「男一支配 / 女一服従」の関係にあ

る場合はそれを肯定的、好意的にとらえる文脈が多いのに対し、女性が男性と同等のスポーツの行為主体にある場合は果たすべき性役割を放棄しているとして、否定的、背徳的にとらえる文脈が多い。そのことはつきのような記事見出しの例からもわかる。

005-003 [登山] エベレスト登頂

「夫を置き去りにしたエベレスト女性登山隊の出発 世界で初の女性だけのエベレスト登山隊」 (週刊新潮、1975/2/13)

(3) ではなぜ、スポーツをする女性が特殊、あるいはスポーツ行為者を支えることが普通であるという女性観があるのか。キャサリン・A・マッキノンは、なぜ女性はスポーツに参加しないのか、についてつぎのように述べている。

ラディカル・フェミニストの視点に立つとき、女性が運動競技に参加しない理由はもっと複雑になる。女性たちはこれまでずっと、傍観者として、多くのことを学んできた。私たちは資源から排除され、参加から排除されているだけでなく、じっさいにハンディキャップがある

こと、弱さを強制されていること、肉体と精神はじっさいに動いているときには関係やないことを学んだ。それは男性が鍛えられ、女性は鍛えられていないということではない。男性は強くなるための訓練を受け、女性は弱くなるための訓練をうけているのだ。

(C・A・マッキノン「女性・自己所有・スポーツ」『修正されないフェミニズム』奥田暁子・加藤春恵子・鈴木みどり・山田美佳子訳、明石書店、1992年、pp. 196-197)

つまりオリンピックに代表されるような競技スポーツはそもそも、“より速く、より高く、より強く”というオリンピックのモットーに見られる「男らしさ」と同質の特性に高い価値をおいているものである。男性はスポーツをするなかで「男らしい」性役割を果たすことが出来る。しかし女性は「男らしい」性役割と反対の役割を果たすことが期待されているので「女らしい」女性であることはスポーツをすることと矛盾が生じる。よってスポーツ行為者としての女性を特殊な存在として表現するのだと思われる。

第2節 ジャーナリズムの女性観の影響力

これまでみきたたのように、ジャーナリズムにおける女性の表現は限定的かつ画一的なもので、実際の女性のスポーツ参加実態を正確に描写しているとはいがたい。ジャーナリズムは現実を歪んだかたちに映す凹凸面鏡であるといえる。

しかしジャーナリズムの表現と現実の関係を〈現実→表現〉というような一方向的なものにすぎない、ということはできない。マッキノンはジャーナリズムにおける言語表現や映像表現を、単に中空に浮いた特別な枠のなかのものでも、現実に鏡にすぎぬものでもなく、それ自体を社会的行為として現実を構成していく過程であると主張する⁶⁾。

スポーツと女性に関しては、現実の特定の部分に焦点をあてた表現はあたかもそれが社会的にもひろく認知されたもののような印象を与えるし、逆に現実にはひろく存在する事柄をまったく取り

上げなかったとすれば存在しないがごとき印象を与えるであろう。このように現実とは矛盾した内容であっても、ジャーナリズムで表現されれば(表現されなければ)あらたな疑似環境をつくりだし、人びとはこの疑似環境こそを適応すべき環境としてとらえ、依存するようになる。スポーツ活動における女性の立場とジャーナリズムの女性表現はこのような相互影響関係にあるのだといえる。

おわりに

これまで、雑誌記事見出しのなかで「女性がどう表現されているか」を主眼において考察してきたが、では「男性はどう表現されているか」はとりあげてこなかった。「女らしさ」というジェンダーがジャーナリズムがつくる疑似環境の産物であるとするならば、「男らしさ」はどうであろうか。果してすべての男性は、社会的に期待される〈男一支配 / 女一服従〉という性役割論的「男らしさ」と、行為の嗜好が合致しているといえるのだろうか。男性もまた女性同様、「男らしく」あらねばならないというジェンダーを押しつけられているのかもしれない。

スポーツ参加における男女の性差をより公平に正確に考えるならば、男性表現の意味内容の分類をし、女性との比較する必要があった。本論文ではそこまで深く考察することができなかったことが残念である。

また、今回は調査対象として雑誌記事の見出しが取り上げたが、雑誌はテレビ、ラジオ、新聞の各メディアに比べると、受け手の選択性が高いので前述の三つのメディアよりは影響力が小さいかもしれない。メディアの種類別に表現の有り様を比較することも必要だろう。

まだまだ課題を多く残しているが、本論文はこれで終了したい。

6)、7) 加藤春恵子「フェミニズムと性表現—C・A・マッキノンの提起するもの—」『新聞学評論』第38巻、日本新聞学会、1989年、p. 76

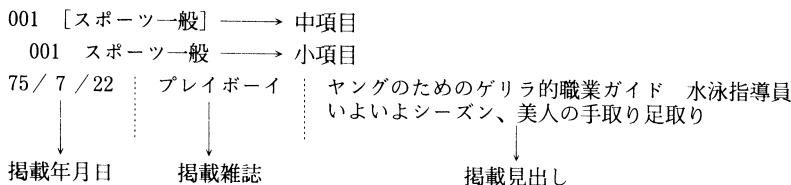
資料

注1) 大宅文庫雑誌件名目録より、大項目24【スポーツ】の1945年～1988年の全項目を調査

注2) 見出しのなかに女性を表す語句が含まれているもの、女性の氏名が表記されているものを取り上げた。

注3) 但し、001-012（チアガール）018-002（女子プロレス）023-007（女子野球）023-003（ニューヤンkees）028-007（選手夫人）031-002（女子バレー）031-005（ママさんバレー）の各小項目については上記2)に該当しないものもすべて取り上げた。

(例)



001 [スポーツ一般]

001 スポーツ一般

75/7/22	プレイボーイ	ヤングのためのゲリラ的職業ガイド 水泳指導員 いよいよシーズン、美人の手取り足取り
75/5/26	微笑	美容と健康に最新スポーツ用品大カタログ グラビア「美人トレーナー一覧」
77/5/29	週刊サンケイ	医学界ニュース スポーツ・ウーマンの生理不順
78/12	リーダーズ・ダイジェスト	サーティ・フォーティ 近頃スポーツづいている「女房族」を体力テストしてみた
79/4/12	週刊サンケイ	頭もからだも蘇る！女の“最新スポーツ生活”選び！
79/5	新鮮	スポーツブランド面白図鑑 おしゃれな女の子なら汗を搔け！ 一流プレイヤーが愛用するブランドはこれ！
79/6/28	女性自身	Let's Sports 現代女性におけるスポーツの大研究
79/10/25	週刊平凡	スポーツ“女の時代” 日本IBM、日本電気ほか空手、柔道ほか
79/冬	中央公論経営問題	Think Sports 好記録のカギにスポーツ・ブラあり～ノーブラだとガンになる
79/12/20	週刊サンケイ	'80年はライフスタイルをおしゃれにしよう！ 長谷直美さんのスポーツ
80/1/17.24	女性自身	NEW キャリアガール'80③スポーツ・インストラクター
80/1/29	週刊女性	ああ！スポーツ結婚 国際スポーツ会議に集結する“7人の女サムライ”
80/10/9	週刊サンケイ	スポーツ人間のための特集 あなたもトレーナー仲間！スポーツギャルのヘア、ほか
80/11/6	女性自身	翔べ！スポーツウーマンたち 女性たちはやがて男性と互角にきそい合うようになる
81/2	リーダーズ・ダイジェスト	子供を託児所に預けスポーツに興じるママさんパワー
81/5/14	週刊サンケイ	10歳からの科学 スポーツでの男女の差
81/12/6	週刊読売	女の新職業 ダイビング・インストラクター
82/4/15	女性自身	“彼女たち”はどこへ行こうとしているのか 若い女性のスポーツブーム
84/4/5	Sports Graphic Number	女子バレーボール、ハイマン選手の死がのこした教訓 スポーツ前の絶対3か条
86/2/13	女性セブン	美人 Sports インストラクター「ワタシがお教えしますワ」
86/11/22	週刊現代	惨敗アジア大会、教育ママが日本選手をダメにした 日本選手の敗北は「成熟社会の証し」という声があるが……
86/12	知識	Lady Watching「体育しか得意じゃなかったんです……」インストラクター・レディー小松崎亜弥さん
87/6/18	DIME	水着になった美人インストラクター「わたしと E 汗かきませんか」
87/8/20	アサヒ芸能	

87/11 主婦と生活

“いま、輝きダンゼン！”全米トレーナーズ協会認定の初の日本女性トレーナー田中啓子さん（27歳）

002 選手

47/7/9	アサヒグラフ	旧女流選手告知版
60/5/8	週刊現代	女子スポーツ選手の生理
66/10/9	朝日ジャーナル	女性と陸上種目 セックスチェック 消えゆく80メートル障害
67/6/9	週刊読売	女子選手のセックスチェック その方法と波紋
72/11/4	週刊新潮	セックスチェックに敗れた陸上界幻の記録保持者 石野ますよ嬢の新しい舞台
74/11/11	週刊文春	女子スポーツ選手にとって“美”とは何か？
74/11/14	アサヒ芸能	スポーツ・ウーマン・パワーそこのけそこのけ女が通る
77/6/2	週刊文春	ホープさんはみんな美女 女子アマチュアスポーツ界の明日の担い手
77/7/7	週刊朝日	セックス・チェック 日本陸上界に疑惑の“女子”選手がいた！
80/2/7	アサヒ芸能	スポーツ界のウーマンリブ、女性ジョッキー夢の対決 80年は女人禁制部分へ進出
80/10/30	女性自身	世界からNo.1 スポーツレディ大集合
81/1/1	週刊新潮	現代の顔「ショーライ」少女の時代 水泳・長崎宏子、フィギュアスケート・伊藤みどり、体操・森尾麻衣ほか
81/3/12	女性自身	日本のスポーツ界もやっと「女の時代」世界の一流と肩を並べる7人のスポーツ・ギャルの活躍と素顔
83/8/18	週刊文春	アマチュア・スポーツ選手のセックスチェックはどのようにして行うのか
86/5/5	Sports Graphic Number	昭和を彩った100人の女たち～人見絹枝から服部道子まで
”	”	女性スポーツ名勝負物語
86/6/12	アサヒ芸能	筑波大講師が衝撃発言 男性コーチも頭を悩ます女子選手の「生理対処法」
86/8/28 ～9/11	”	連載 栄養学なんかクソくらえ有名スポーツ選手・夫人が編み出した我が家の大秘密

003 世界記録

004 日本体育協会

005 スポーツ団体

006 アジア大会

58/6/6	娯楽よみうり	アジア大会女子選手美人くらべ
58/6/8	週刊女性	日本女子選手はどこまで戦うかアジア競技大会女性版
58/6/15	”	夫よ！ほら聖火が燃えているはなやかなアジア競技大会の陰に
78/11/16	週刊新潮	スポーツ新聞ハイライトアジア大会選手団の“ミス・ニッポン”は誰
79/1/4	”	西洋新聞閲覧 アジア大会を彩る女たち

007 ユニバーシアード

85/9/12	週刊新潮	女性ボランティア3万人がひじめいた！
85/9/19	アサヒ芸能	逮捕女子大生も出て……外国選手にぶら下がりキスなんて当たり前、ユニバーシアードに咲いた夜の国際交流
85/9/25	Emma	神戸ユニバーシアードを地元女子大生がもてあます体で悩殺！グループとよばないで

008 学生スポーツ

79/7/26	アサヒ芸能	現地ルポ 高校総体で雄琴を追われたトルコ嬢700人の休日、教育上よくないと雄琴のトルコ街が営業ストップ
---------	-------	---

009 国体

73/6/14	週刊新潮	「国体」と「千葉のトルコ」期間中ネオンの灯を消し“自粛”
---------	------	------------------------------

75/7/17	"	昼は国体強化選手、夜は芸者のともえ姫さん、三重国体の紅一点、しかも芸者さんの乗馬選手
81/11/6	週刊ポスト	雄琴の灯が消えた3日間「スキンシップ」より「スポーツマンシップ」を選んだ?びわこ国体
010 パラリンピック		
74/12/2	ヤングレディ	美智子妃にはげまされて! 車椅子OLが身障者世界競技大会に入賞、そして結婚!
76/9/8	女性セブン	今週の顔 森本雅美さん(19歳)カナダの身障者オリンピック初出場でみごと金メダル
011 競技場、体育館		
012 チアガール		
75/1/2.9	週刊大衆	日本一バトントワラー 大越多美子さん(21歳)
76/2/5	アサヒ芸能	花開くチア・ガール アメリカンフットボールもうひとつの見所
76/10/11	週刊小説	黒の興奮、本場アメ・ラグの激闘 全米一のマーチングバンドとチアガールをひきつれて
77/6/30	女性自身	働く女シリーズ バトントワラーたち、ヤングに大ウケのビビビチ職業!活躍の場は?
77/8/11	アサヒ芸能	夏の風物詩 都市対抗チアガール合戦
77/11/25	週刊小説	“クルクル”やる人全員集合! バトンガール日本一を競って華やかに
78/4/6	アサヒ芸能	チア・ガール初登場 阪神とロッテにお色気援軍
78/4/16	サンデー毎日	見せる野球にレッツ・ゴー チア・ガール顔見せ合戦、阪神VSロッテ
78/4/20	週刊サンケイ	プロ野球がグンと楽しくなった阪神・ロッテのチアガール競艶合戦
78/4/28	週刊小説	女の力で勝たせます!川崎球場にピチピチしたチアガールズ競艶合戦
78/5/9	プレイボーイ	阪神タイガース・チアガール12輪の花に変化球インタビュー20倍の難関をトッパしたヒメ虎たちの心意気
78/7/18	"	ダメ阪神の銃後の花と散る24の瞳(チアガールズ)
78/10/10	"	'78ミラージュボールに来日決定! ダラス・カウボーイズ、スーパー・チア・リーダー
79/1/4	週刊文春	ダラスからきたチア・リーダー
79/1/9	プレイボーイ	全米一のチア・ガール軍団 ダラス・カウボーイズBeauty4を急角度インタビュー
79/2/2	週刊ポスト	私が“プロ第1号”です「ジャパン・ボウル」でデビューしたチア・リーダー浅井直湖さん
79/2/4	週刊明星	日米合戦! ジャパンボウルを彩ったチアガール
79/4/19	週刊サンケイ	日給5ドルのチアガールが巻き起こした“売り込み”と“事故”的てんまつ
79/6/28	"	誰か“チアガールを守る会”でも作らぬか
79/7/5	週刊文春	アメラグには負けられませんワもう一つの見ものはアラバマ大学の美人チアガールの面々
79/7/31	プレイボーイ	東京決戦! 11月25日ミラージュ・ボウル、チア・ガール対決 ノートルダム大対マイアミ大
79/9/2	週刊読売	甲子園の華 チアガールたち
79/9/4	プレイボーイ	熱戦甲子園特別グラフ ヘッドスライディングのカゲにチア・ガールあり! 猛ハッスルするのも分かるよ
79/9/11	"	本場テキサスからやってきたプロ・チアガールズ ミラージュ・ガール日本列島横断始末記
"	"	ミラージュ・ガール・ライン・アップ ジャパニーズBoyをKOしたアメリカン・チア・ガールズ
80/1/31	アサヒ芸能	雪と勝負のチアガール オールスター東西対抗戦
80/2	PLAYBOY	全米各地に大旋風 チアリーダー'80 グラウンドを彩る美女たちからの夢の年賀状

80/2/12	週刊女性	NEW キャリアガール'80 チア・リーダー本場アメリカ仕込み
80/2/26	ヤングレディ	マスコットガール募集中でーす！「男性スポーツサークル」メンバーよ
80/4/10	GORO	開幕！'80春のセンバツ甲子園 花のチアリーダー大集合！少女たちの“もうひとつの青春”
80/7/1	プレイボーイ	東京六大学アメフト・リーグ番外編 試合ジャック？チア・ギャルズの白熱戦！
80/7/8	”	メリーランド大学のチアリーダーたちの“恥じらい”が好ましかった
80/8/7	週刊文春	Spot チアガールNo.1がやってくる
80/12/21	週刊読売	'80ミラージュボウル脚線競艶
81/1/1	プレイボーイ	SUPER EXPRESS1 MLRAGE BOWL 热演オレンジ・ギャルズ
81/2/10	”	ホレ！ミレ！シリーズ第2弾JAPAN BOWL 応援のアメリカン・ギャル
81/8/14.21	週刊ポスト	いさか食傷しま……せんなア 第52回都市対抗野球・チアガール競艶もマンネリ報道とケナされても肉迫！
81/9/27	サンデー毎日	毎度アリーッ、チア・ガールの出前でース チア・ガールをしてくれる女子店員たち
81/12/19	週刊宝石	チアガールはサンジェゴ大学の勝利
82/2/7	週刊読売	躍動するバトン、律動するバンド バトントワリング・マーチングバンド全国大会
82/6/13	”	「やったね」草野球、花の応援団“出前”チアガール初勝利
82/7/25	”	野坂昭如の一写入魂(250)ついにサーカスの少女を連想してしまう
82/9/4	週刊現代	甲子園でチアガールを狙う芸能プロのスカウト合戦
83/6/30	週刊文春	さすが本場、このド迫力を見よ スタンフォード大学チアガール
83/7/14	”	和製チアガールも「迫力で勝負よ」
83/11/10	POPYE	少女たちの応援が、ファインプレイのエキスだ
84/1/20	週刊宝石	お楽しみ多きフットボール観戦術
84/2/2	週刊明星	全米学生フットボール横浜スタジアムで激突“第9回ジャパンボウル”チアガールたち
84/4/16	平凡パンチ	ワタシたちパンチラなんて気にしないもーん 日本初のチア・リーダーズ・コンテスト
85/1/20	Sports Graphic Number	「第1回ミス・ドリルチーム・ジャパン・ペイジメント」でお目見えたスポーツを応援するスポーツ“ドリル”をご紹介しまーす
85/5/27	平凡パンチ	飛んでも見えない東大OGは貞操堅固
85/6/7	FOCUS	女子学生が目の色変えてなりたがる「コンパニオン」「チアリーダー」のすごい付加価値
85/7/1	平凡パンチ	高校生は元気どーす！飛んで、はねてがんばりますっ！
85/7/19	FOCUS	ミスドリルチーム大会スター選手の事故 スポーツを応援する“スポーツ”的過激
85/7/25	Emma	無敗のバトンクィーンが切れ長の目をした女子高生
85/7/26	FRIDAY	東西の美少女628人 跳んだりハネたり大競艶「ミスドリル世界大会」いちはんの注目部分
85/7/28	サンデー毎日	応援団じゃなくして、チアガールじゃなくて、ドリル・ガール。いずれもサシミのつまを脱してサシミをめざす
85/7/29	平凡パンチ	“やっぱり金髪は違うヨ”なんて声にも負けず和風肉弾 ドリルも大股ビラキ
85/7/30	プレイボーイ	ホントに高校生？ ミスドリルGALのむっちりボディに……7/7国技館に世界のチアガールが大集合！
85/8/5.12	平凡パンチ	夏の甲子園異聞。パンチラ撮影規制か チアガールのパンツ覗きたいカメラマンはつらいよ
85/8/11	サンデー毎日	つい野球を見るのを忘れてしまう都市対抗ギャルズの色、艶、技の向上
85/10/14	平凡パンチ	ヤラシー写真お断りのバトン大会
86/8/8	FOCUS	ケガに克ってつかんだ栄冠 ミスドリルチーム世界大会、個人優勝のマンディ・ネビア

86 / 8 / 11.18	平凡パンチ	真夏の甲子園もうひとつの暑い死闘「桃色チア・ガール」VS「変態カメラ小僧」
86 / 8 / 20	Emma	'86年度上半期開脚大賞はこれだ！涙・涙・涙。ドリルの華の大開脚
86 / 12 / 15	平凡パンチ	コカ・コーラボウル チアリーダーはやっぱ舶来モンがいいゾ！
87 / 1 / 27	FLASH	脚線美で勝負？ 日航チアガールたちの元気印
87 / 1 / 29	アサヒ芸能	マーチにのってチラチラパッパ
87 / 2 / 5	Sports Graphic Number	フォトジャック「スタジアムのマドンナを捜せ！」
87 / 2 / 12	アサヒ芸能	若さのバクハツはかくありたいボクたち感動！JAL CUP ドリル・チアーディングペーパーント
87 / 2 / 14	週刊現代	お色気ムンムン、思わずゴックン美チアリーダーの決定的瞬間
87 / 2 / 19	平凡パンチ	明るく元気なジョシコーネーがエエねん！
87 / 4	NEXT	当世若者学入門「花の応援団」知られざる実態ルポ
87 / 5	文藝春秋	日航チアガールの選考基準は“笑顔美人”
87 / 8 / 9	週刊読売	脚が長くて、彫りの深い欧米の高校生にも負けないゾ！世界大会に挑む日本のミスドリル・神奈川県立住吉高校生
87 / 8 / 18	TOUCH	百花繚乱！ “高校生”チアガールの「華麗」
87 / 8 / 21.28	週刊宝石	飛び、跳ね、弾ける！ハイスクール・ティーンズ
87 / 8 / 27	平凡パンチ	女子高校生応援ギャルの180度全面展開のド迫力！
87 / 9 / 23	ターザン	チアーディング・チーム JAL JETS 発進！
87 / 11	文藝春秋	「教壇で踊ったのがきっかけ」ドリル日本一の黒田紫先生
87 / 12 / 18	FRIDAY	女の闘いは「本職」と「学生」の差ありあり 本場アメフト「もうひとつ楽しみ」

002 [オリンピック]

001 オリンピック一般

51 / 9	毎日情報	女だけのオリンピック
60 / 8 / 5	日本週報	女子選手とアナウンサー オリンピック裏話
76 / 7 / 13	ヤングレディ	女の子だってオリンピックぐらい知らなくちゃ オリンピッククイズ
84 / 1 / 1	リーダース・ダイジェスト	オリンピックは女性を差別している 時代遅れの偏見のために浮かばれない女性選手
85 / 6 / 21	週刊朝日	「IOCの女帝」ベルリュー事務局長を切ったサマランチ会長。背後にちらつく祖国への五輪誘致争い

002 GANEFO 騒動

003 アマチュア資格問題

72 / 12 / 16	女性自身	バレーボール選手と芸者と“品位”に関する考察ショック!!あの森田さんや嶋岡さんに「品位」がないんですって!?
72 / 12 / 13	微笑	松平監督よ、あなたがこの責任を負うべきではない！男子バレーボール芸者遊び事件
73 / 9 / 3	週刊文春	バレーボール協会にプロと決めつけられた「東洋の魔女」の怒り テレビ出演問題で燃えあがった“女のたたかい”
73 / 9 / 8	微笑	バレーボール「東洋の魔女」のテレビ出演でとんだ問題が……ママさんチームとの対戦がアマ規定違反
76 / 3 / 11	週刊サンケイ	水泳No.1美女（松村鈴子）がやめて問題になる女心をオリンピックにつなぎとめる法

004 選手一般

51 / 2 / 11	週刊朝日	今日の群像 女子オリンピック候補選手
51 / 9	毎日情報	女だけのオリンピック
72 / 9 / 10	サンデー毎日	ベルリン五輪の日本女子水泳選手が歩いた36年 ガンバリ精神で苦労を乗り越えたの
76 / 2 / 26	週刊新潮	五輪“水のホープ”松村鈴子の挫折 松村鈴子が17歳で引退を表明

76 / 4 / 1	女性自身	水泳選手より青春を選んだ松村鈴子さん
76 / 5 / 20	週刊文春	なかなかきまらぬあと6人 五輪バレー代表にみる女の執念、残りは日立の選手8人の中から
76 / 7 / 29	週刊新潮	結婚・モントリオール五輪「結婚第1号」日本代表、フェンシングの吉川真理子
76 / 8 / 12	週刊サンケイ	グラビア 妖精コマネチ
76 / 8 / 12.19	女性自身	オリンピックに舞う 白い妖精、コマネチ、得点10を7回もとった天才少女ナディア・コマネチ
76 / 9	婦人公論	五輪を捨てた私の青春（手記）水泳の練習の10年間は、牢屋に閉じ込められた日々（松村鈴子）
77 / 4 / 14	週刊新潮	結婚 モントリオール五輪“東洋の魔女”の結婚作戦、金メダリスト飯田高子31歳、神田正充29歳
79 / 5 / 10.17	女性自身	7年前の妖精はいま母親 お久しぶりミュンヘンオリンピックの“妖精”コルプト
81 / 2 / 19	"	殺されてタマタマわかった「彼女」は男！ロス五輪の女子100メートルの金メダリスト
83 / 12	中央公論	オリンピック思い出の日本選手たち 猛練習に耐え抜いた“魔女”たち日本女子バレーボールチーム
84 / 3 / 20	Sports Graphic Number	より美しく！オッサンたちのオリンピック

005 ロサンゼルス大会 (1932)

006 ベルリン大会 (1936)

007 東京大会 (1940)

008 ロンドン大会 (1948)

009 ヘルシンキ大会 (1952)

010 メルボルン大会 (1956)

011 ローマ大会 (1960)

012 東京大会 (1964)

64 / 5 / 11	週刊新潮	ホステス血液検査の恐怖 オリンピックの夜を守るためにトバッチャリ
64 / 9 / 4	週刊朝日	ようこそ私はコンパニオン 29人のオリンピック接待役の横顔
64 / 9 / 6	サンデー毎日	日本のハイソサエティーが育てたコンパニオン
64 / 9 / 10	週刊現代	29人の才女が選ばれた理由 その名は五輪コンパニオンというけれど.....
64 / 9 / 16	漫画サンデー	オリンピックコンパニオンの華麗な舞台裏
64 / 10 / 22	週刊現代	人気はキャロン、美しさはチャスラフスカ
64 / 10 / 26	平凡パンチ	オリンピック村の美人評判記
64 / 10 / 28	女性セブン	東京オリンピックロマンス特集 TOKYO の空の下、芽生え花開いた四つの愛のものがたり
64 / 10 / 30	週刊朝日	美人メダリストを狙え 開会式目指す宣伝マンのオリンピック
64 / 11 / 1	サンデー毎日	日当3000円コンパニオンは重労働
64 / 10 / 30	週刊新潮	五輪コンパニオンのピンだ、キリだ、肩書は通用しなくなっているのに
68 / 1 / 13	"	女と死んだ聖火ランナー オリンピックの栄光のあのスキヤンダル元祖・東洋の魔女12名、栄光の東京五輪からの“女の幸せ”
76 / 10 / 7	週刊現代	最高だった東京五輪「34人」のコンパニオン
85 / 3 / 14	週刊新潮	'60年代グラフィティ 東京オリンピック②女っぽく素敵な魔女
86 / 10 / 10	週刊朝日	

013 メキシコ大会 (1963)

014 ミュンヘン大会 (1972)

015 モントリオール大会 (1976)

76 / 7 / 22	週刊現代	いよいよ五輪開幕！TVで見たいモントリオールの美女15人の身上調書
-------------	------	-----------------------------------

76/7/26	週刊小説	SEXオリンピックだという理由、選手の野放しSEXレースによる内ゲバ
76/8/1	週刊明星	モントリオールオリンピック華やかに開幕 小さな花が人気独占！メダリストを目指すアン王女！
76/8/5	週刊現代	奇跡の妖精、コマネチは“体操人形”か。その気になる将来
76/8/6	週刊朝日	舞い、跳び、泳ぐ、“妖精たち”モントリオールオリンピック絵巻

016 モスクワ大会（1980）

79/8/23	週刊新潮	日本人と売春婦たちのためのプレ五輪
---------	------	-------------------

017 ロサンゼルス大会（1984）

84/8/10	週刊宝石	スポーツ観戦ガイド ロス五輪“美女”鑑賞の手引き
---------	------	--------------------------

018 オリンピック誘致（名古屋）

019 ソウル大会（1988）

88/1/25	週刊大衆	隣の国がどんどん分かる！ 美人女子大生も待っている五輪コンパニオンは百花繚乱
---------	------	--

019-01 バルセロナ大会（1992）

020 冬季オリンピック一般

88/1/2 2.9	週刊時事	2月13日から冬季五輪カルガリー大会 メダル狙う男子の黒岩、三谷と期待大きい橋本聖子！
88/2/23	TOUCH	黒岩彰・橋本聖子ら「日本期待の星」はメダルをいくつとれるか！
88/3/10	ニュースウィーク日本版	技か艶か～冬季五輪・銀盤の対決 女子フギュアの判定が議論を残すなか、カルガリーの幕は下りた
88/3/11	週刊朝日	カルガリーの“華麗な戦い”はピットに栄冠 日本勢大健闘、みどり五位、聖子五種目入賞
88/3/17	週刊新潮	「聖子」「みどり」の栄誉賞騒動

003 [水泳]

001 水泳一般

69/8/2	週刊読売	なぜ強い？天理大女子選手
62/7/5	週刊女性	シンクロで肉体美になれる問題の美容スポーツ、シンクロナイズド・スイミング
66/9/19	週刊サンケイ	山田スイミング・クラブはなぜ強い 女子日本一を生んだハードトレーニング
73/1/3	週刊現代	“女の戦争”には敗れた山田SC 山田スイミングクラブ解散表明
74/6/29	微笑	育児徹底講座 ママの速成水泳術、子どもと一緒に水に親しむコツのコツ
74/8/22	週刊サンケイ	速い「世界記録」へ向かって……背泳・松村鈴子の3年ぶりの記録
74/9/16	平凡パンチ	魔法の水着で新記録続出の女子水泳 ポインの谷間に水がたまらない……毛も剃っちゃうの……
75/6/27	週刊ポスト	プールの花 “シンクロ・ピーナッツ” シンクロナイズド・スイミング世界選手権に挑戦する藤原昌子・育子姉妹
76/3/11	週刊サンケイ	水泳No.1美女（松村鈴子）がやめて問題になる女心をオリンピックにつなぎとめる法
76/6/29	プレイボーイ	セックスチェックが必要な“不能”ニッポン男子水泳陣？ エンダー嬢（東独）の水しぶきを受けながらオリンピック出場
77/7/31	週刊明星	代役から一転、モスクワのいちばん星へ！？努力の天才スイマー稻葉加世
77/8/18	週刊サンケイ	15年ぶりに切った“一分の壁”女子100m自由形で山崎幸子
77/9	宝石	ひと味ちがう水泳の稻葉嬢の頼もしさ
77/9/4	週刊明星	日本生まれでアメリカ育ち、沼野美奈子ちゃん里帰り
78/4/6	週刊現代	豪州の“怪物少女”との混泳話もある男子水泳陣の凋落

78 / 7 / 7	週刊小説	ビバ・スポーツ カナヅチ集まれ！脱OLのコーチが手取り足取りで教えてくれるぞ
79 / 2 / 8	アサヒ芸能	13歳少女が水泳新記録 賞磐玲子（13歳）埼玉北本中一年、豪州遠征で1500m18分16（日本新）
79 / 3 / 8	週刊文春	水泳ローティーン・チャンピオン 宅和裕子12歳
79 / 9 / 6	アサヒ芸能	釣り落としたサカナ 全米女子選手権の女子200mバタフライ決勝で三着にマスコミ・ヨコヤマと日系人らしい名前がのっていた
82 / 8	中央公論	女・第一線 シンクロナイズド・スイミングコーチ井村雅代
83 / 7 / 21	週刊明星	水の妖精たちが華麗にエスカレーション！シンクロの伊東恵・田中京のフレッシュボディに接近
83 / 8 / 29	平凡パンチ	“水の妖精”は華麗なファイター・シンクロナイズド・スイミング
84 / 9 / 21	宝石	「ジャパン・シンクロ'84」マーメイドたちの脚線美 金・銀・銅が勢揃い
84 / 9 / 24	平凡パンチ	濡れた両脚がステキだったヨ 大股びらきに思わずボッキン「ジャパン・シンクロ'84」
84 / 10 / 1	"	美人インストラクター大集合！スポーツクラブでグッドヘルス
85 / 4 / 12	FRIDAY	ソウル五輪に胸も期待もふくらむ ミカ・ミヤ・メグはとれたての女子大生
85 / 6 / 17	平凡パンチ	SPORTS SEMINAR⑨水泳編 あの娘を浮かす男の醍醐味
85 / 7 / 2	プレイボーイ	あの、長崎宏子に、実力よりも“かわいさ”で迫る女子選手たち。水泳・国際大会代表選考会
85 / 9 / 10	Emma	アマチュアスポーツ界No.1 美女は驚異の胸囲の持ち主
87 / 7 / 5	Sports Graphic Number	修善寺に咲いた水中花二輪。シンクロナイズド・スイミングの小谷・田中両選手が、目標をソウル五輪においてデュエット結成
87 / 7 / 31	FOCUS	シンクロ水着の切れ込み度「パンパシフィック」ハイレグ禁止令の是非
87 / 8 / 4	FLASH	健康ボディも新鮮。美人インストラクターが男を鍛えてくれる
87 / 8 / 7	週刊宝石	より高く、より美しく、水姫たちの進化 一段と妙技が冴えた第8回パンパシフィック・シンクロナイズド・スイミング選手権大会
"	"	シンクロのハイレグ水着にストップ！
87 / 8 / 10	週刊大衆	第8回パンパシフィック・シンクロ選手権ハイレッグ禁止なれどコーンまたコーン
87 / 12 / 13	週刊読売	向寒の候 パンストはいた“水の踊り子”たち金メダリストのシンクロナイズド・スイミングショー

002 プール

/ 7 / 29	週刊女性	ちょっと豪華な女性版スイミングプール 東京、大阪、京都
/ 11 / 30	女性セブン	DO? YOUNG TOWN 全国温水プールガイド冬泳いでスレンダーナ女になろう！
/ 8 / 21	プレイボーイ	人呼んでザ・プールギャル 各ホテル・プール・ガイド付
/ 7 / 10	週刊宝石	一流ホテルプールのハイレグ度を全調査！リッチな気分で混浴しながらハイレグ美女を鑑賞する法からハントの仕方まで
/ 8 / 22	週刊現代	都市の風・街の水が磨いて プールサイドの美女たち
/ 2 / 27	"	急増！水着のスキーギャル スキー場はいまや総合リゾート地

004 [ボート、ヨット]

001 ボート・ヨット一般

/ 7 / 17	女性セブン	われら1億円のヨットオーナー 求む！花嫁
/ 6 / 28	ヤングレディ	VIVA YACHTING 夏の冒険に出よう！待望の夏です、女性のレジャーも OUTDOOR 精神でなくちゃ
/ 6 / 15	週刊文春	今年の葉山は“OLがいっぱい”メーカーのヨット教室に女性が殺到
/ 7 / 11	ヤングレディ	この夏女性に大人気！マリンスポーツにチャレンジしよう。ワイドサーファー、ヨット、ダイビング
/ 8 / 20	週刊明星	海にロマンを求めた4女性 男は乗せない、太平洋横断の小林則子ら4名が函館→横浜セーリング

/ 9 / 14	週刊文春	カヌー・ボロって何？ 本邦初のチームは女性軍、カヌーに乗って水球をやるようなスポーツ
/ 3 / 5	週刊ポスト	疾風！氷上セイリング世界選手権でスピードの限界を競ったアイスヨットの魅力
/ 5 / 15	"	実力発揮！史上初の女性コックス 隅田川コースで行われた英国伝統のレースの主役は、スザン嬢だった！
/ 8 / 6	"	夏だ！ヨットだ！OLだ！海と風に魅せられた一流企業12人の美女の「わたしたちのリッチなバケーション」
/ 6 / 3	平凡パンチ	SPORTS SEMINAR⑦ ヨット編ヨットで女をノセル
/ 1 / 20	Sports Graphic Number	何が彼女をコックスにしたのか。もしくは、いかにして日本初の女性コックスはボートを愛するようになったのか
/ 6 / 5	non・no	ノンノ・ミス・インタビュー② ヨットで海に乗り出す少女は、勝海舟ゆずりの度胸の持ち主（高山なな子）
/ 6 / 7	婦人と暮らし	「私」……宣言 丹羽徳子 メルボルンから大阪ダブルハンドヨットレースの35日間走破は、アクシデントを乗り越えた結婚25周年の銀婚式

以下、紙幅の制約上、項目のみ示す。

尚、紀要掲載にあたり、卒業論文提出時には省略していた一部資料項目を補完。

005 [登山]
 001 登山一般
 002 ナマスル登頂
 003 エベレスト登頂
 004 シュガール・ヒマール

006 [スキー]
 001 スキー一般
 007 [スケート]
 001 スケート一般
 008 [アイスホッケー]
 001 アイスホッケー一般

009 [陸上競技]
 001 陸上競技一般
 002 マラソン
 003 近代五種

010 [体操]
 001 体操一般
 011 [乗馬]
 001 乗馬一般
 012 [アーチェリー]
 001 アーチェリー一般

013 [射撃]
 001 射撃一般
 014 [重量挙、ボディビル]
 001 重量挙・ボディビル

015 [相撲]
 001 相撲一般
 002 歴史
 003 相撲協会、角界改革
 004 相撲部屋
 005 部屋騒動
 006 各場所

007 行司、呼出し
 008 横綱
 009 力士
 010 八百長相撲
 011 裏話
 012 素人相撲
 016 [ボクシング]
 001 ボクシング一般
 017 [キックボクシング]
 001 キックボクシング一般

018 [プロレス]
 001 プロレス一般
 002 女子プロレス
 019 [アマレス]
 001 アマレス一般

020 [柔道]
 001 柔道一般
 021 [空手]
 001 空手一般
 022 [武道、格闘技]
 001 武道・格闘技一般

023 [野球]
 001 野球一般
 002 都市対抗野球
 003 学生野球
 004 早慶戦
 005 学生日米戦
 006 少年野球
 007 女子野球
 008 ニューサンキース
 009 草野球
 010 器具、用具

- 011 八百長、野球賭博
 024 [高校野球]
 001 高校野球一般
 002 上尾高校事件
 003 1974年・春
 004 1974年・夏
 005 1975年・春
 006 1975年・夏
 007 1976年・春
 008 1976年・夏
 009 1977年・春
 010 1977年・夏
 011 1978年・春
 012 1978年・夏
 013 1979年・春
 014 1979年・夏
 015 1980年・春
 016 1980年・夏
 017 1981年・春
 018 1981年・夏
 019 1982年・春
 020 1982年・夏
 021 1983年・春
 022 1983年・夏
 023 1984年・春
 024 1984年・夏
 025 1985年・春
 026 1985年・夏
 027 1986年・春
 028 1986年・夏
 029 1987年・春
 030 1987年・夏
 031 1988年・春
 025 [プロ野球・一般]
 001 プロ野球一般
 002 歴史
 003 記録
 004 審判、ルール
 005 指名代打制
 006 コミッショナー
 007 プロ経営
 008 野球場
 009 ナイター
 010 キャンプ、オープン戦
 011 オールスターゲーム
 012 日本選手権
 013 来日米国野球
 014 ストーブリーグ
 015 ドラフト制度
 016 江川騒動(1978)
 017 二軍
 018 アナウンサー、解説者、評論家
 019 応援団
 020 ファン
 021 ファン騒動
 022 中日スタジアム事件
 023 珍談、裏話
 026 [プロ野球・球団]
 001 球団一般
 002 阪神
 003 中日
 004 大洋
 005 広島
 006 ヤクルト
 007 南海
 008 ライオンズ
 009 日本ハム
 010 ロッテ
 011 近鉄
 012 阪急
 027 [プロ野球・巨人]
 001 巨人一般
 002 長島巨人
 003 監督、スタッフ
 004 選手
 005 OB
 006 ファン
 007 裏話
 028 [プロ野球・監督、選手]
 001 監督、作戦
 002 コーチ
 003 選手
 004 外人選手
 005 契約金
 006 選手の内職
 007 選手夫人
 008 選手と性
 009 選手その後
 029 [ボウリング]
 001 ボウリング一般
 030 [バスケットボール]
 001 バスケットボール一般
 031 [バレーボール]
 001 バレーボール一般
 002 女子バレー
 003 男子バレー
 004 学生バレー
 005 ママさんバレー
 032 [サッカー]
 001 サッカー一般

- | | |
|-------------------|------------------|
| 033 [ラグビー] | 009 外人ゴルファー |
| 001 ラグビー一般 | 010 試合(各種トーナメント) |
| 034 [アメリカンフットボール] | 011 上達法 |
| 001 アメリカンフットボール一般 | 012 事故 |
| 035 [テニス] | 013 キャディー |
| 001 テニス一般 | 014 用具 |
| 036 [スカッシュ] | 039 [ゲートボール] |
| 001 スカッシュ一般 | 001 ゲートボール一般 |
| 037 [卓球] | 040 [バドミントン] |
| 001 卓球一般 | 001 バドミントン一般 |
| 038 [ゴルフ] | 041 [ソフトボール] |
| 001 ゴルフ一般 | 001 ソフトボール一般 |
| 002 歴史 | 042 [球技いろいろ] |
| 003 ルール | 001 球技いろいろ |
| 004 記録 | 043 [その他スポーツ] |
| 005 会員権、ゴルフ場 | 001 その他スポーツ |
| 006 亡国論 | |
| 007 プロ | |
| 008 アマ | |

参考文献

- 井上輝子・江原由美子『女性のデータブック』有斐閣, 1991年
 ———『女性学とその周辺』創草書房, 1980年
- 江刺正吾「現代日本の成人にみられるスポーツ参与の変動と性差の検討」体育・スポーツ社会学研究会編『体育・スポーツ社会学研究』第3巻, 道和書院, 1984年
 ———「女性とスポーツ—その事実と背景—」菅原禮編『スポーツ社会学への招待』不味堂出版, 1990年
- 江原由美子ほか「ジェンダーの社会学—女たち／男たちの世界』新曜社, 1989年
- 加藤春恵子・津金澤聰廣『女性とメデイア』世界思想社, 1992年
 ———「フェミニズムと性表現—C・A・マッキノンの提起するもの—」『新聞学評論』日本新聞学会, 第38巻, 1989年
- 亀山佳明『スポーツの社会学』世界思想社, 1990年
- キャサリン・A・マッキノン『修正されないフェミニズム』奥田暁子・加藤春恵子・鈴木みどり・山田美佳子訳, 明石書房, 1992年
- 小玉美意子『ジャーヤリズムの女性観』学文社, 1991年
- JOC監修『オリンピック事典』プレスギムナチスカ, 1981年
- 森川貞夫ほか『スポーツ社会学講義』大修館書店, 1988年